

6/29 10:00～ 相模女子大学 障害の有無にかかわらず「学ぶ楽しみ」を発見する1日体験会を開催 相模原市との協働研究事業4年目スタート 発達障害・知的障害のある若者が大学で学び続ける場所をつくりたい

相模女子大学・相模女子大学短期大学部（所在地：神奈川県相模原市南区、学長：田畑雅英、以下「相模女子大学」）は、2024年6月29日（土）午前10時より、若者が障害の有無なく学び続ける場所をつくる「インクルーシブ生涯学習プログラム」の体験会「さがみはら・学ぶ楽しみ発見プログラム体験会」を相模女子大学にて開催しますので、お知らせいたします。この体験会は中学生から30代までであれば誰でも参加することができ、グループワーク「私の趣味自慢タイム」などを通じて、発達・知的障害のある若者が大学のキャンパスで学ぶ楽しさや、学生・市民との交流の楽しさを体験します。



2023年「インクルーシブ生涯学習プログラム」開催の様子



株式会社はまり八顧問 川口信雄氏
(元横浜わかば学園主幹教諭)



障害当事者の若手スタッフが
プログラム企画開発・広報PRに携わっています
(youtube動画はQRコードから)

文部科学省の「学校基本調査」によると、2023年度の大学進学率は60.8%（短期大学や通信教育部等を含む）です。しかし、大学での障害学生在籍率は0.66%（2015年）とされており（※）、障害のある生徒は高校卒業後に就職することがほとんどで、「大学へ進学して学び続ける」という選択肢が少ないのが実情です。（※文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告（第二次まとめ）」より）

そこで、文部科学省は「学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業」を実施しており、相模女子大学では相模原市からの再委託を受けるという連携・協力体制のもと、2021年度から若者が障害の有無にかかわらず学び続ける場所をつくる「インクルーシブ生涯学習プログラム」開発事業を実施しています。この「インクルーシブ生涯学習プログラム」は、2019年に株式会社はまり八顧問の川口信雄氏（元横浜わかば学園主幹教諭）が相模女子大学の日戸由刈教授（人間心理学科教授、専門は障害者障害児心理学）に「卒業生の中に、『本当は大学で学びたかった』という声が少なくなく、発達・知的障害の若者と学生がともに学ぶ場をつくりたい」という熱意を伝えたことから、日戸ゼミ内の交流活動として始まったことがきっかけです。

2023年度の「インクルーシブ生涯学習プログラム」は「大学で学ぶ楽しみ発見セミナー」と題して、全3回のセミナー累計で74人の参加がありました。本プログラムの企画・運営にあたっては、障害当事者の若者が中心となってプログラム内容を開発したほか、YouTube等でプログラムの発信活動を行いました。

4年目となる2024年度のプログラムは9月から12月に開催予定ですが、開催に先立ち6月29日（土）に、本プログラムの体験会として、中学生から30代であれば誰でも参加できる「さがみはら・学ぶ楽しみ発見プログラム体験会」を開催いたします。この体験会では参加者の交流を深める少人数のグループワーク「私の趣味自慢タイム」を実施します。体験会を通じて、発達・知的障害のある若者が大学のキャンパスで学ぶ楽しさや、学生・市民との交流の楽しさを体験してもらうことが狙いです。当日は、長くこの活動に参加している障害のある若者と相模女子大学の学生がファシリテーターを担います。また、川口信雄氏から、このプログラムの意義について若者たちへメッセージをいただく予定です。

相模女子大学は、引き続き相模原市と協働し「障害の有無なく若者が学び続ける場所」をつくる取り組みを行っていきます。ぜひ本取り組みについて取材いただき、報道の力で多くの人にお知らせいただければ幸いです。

【体験会概要】

開催日 : 2024年6月29日（土）午前10時～12時
 場所 : 相模女子大学11号館2階 1124教室（住所：神奈川県相模原市南区文京2丁目1番1号）
 対象 : 中学生から30代まで
 内容 : ①「私の趣味自慢タイム」（グループワーク）②川口信雄氏から若者へのメッセージ（余暇の大切さについて）
 申込方法 : 右記QRコードのHP内にある申込専用フォームからお申し込みください。



↑体験会詳細
申込みはこちら

【本件に関するお問い合わせ先】

学校法人相模女子大学 広報事務局 米澤智子（ワンパーパス株式会社内）
 〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2丁目1番1号
 TEL: 080-5083-6834 / e-mail:t-yonezawa@onepurpose-pr.com

インクルーシブ
生涯学習プログラムの
詳細はこちら→

